

大阪府立鳳高等学校

令和 2 年度学校教育自己診断報告書

2021年2月、OP21（鳳プロジェクト21）委員会発行

第1部 概要

ページ

構成、基本方針、日程、実施方法.....	1
変更点、回答者数、役割分担、分析・考察について、他	2

回答集計結果一覧

生徒	3
保護者	5
教員	7
保護者記述（抜粋）	9

第2部 分析と考察

レポート 1 生徒・保護者・教員の 3 者比較	12
レポート 2 さまざまな比較	15
レポート 3 クロス集計（項目間の相関について）	17
レポート 4 経年比較	20
レポート 5 満足度の違いによる比較	23
レポート 6 コロナ感染症の影響	24
レポート 7 教員の世代間格差	27
レポート 8 新設の質問項目について	31

第1部 概要

1. OP21委員会の構成

端村教頭、井原（教務）、篠原（進路）、高坂（国）、中島（地・公）、落合（数）
大田（理）、田邊（英）、大谷（体）、井上瑞（芸・家・情）、泉（首）、鳥山（首）
(敬称略)

2. 基本方針（例年）

- ① 生徒の学校生活の実態を分析し、現行の鳳高校の教育上の課題を明らかにする。
- ② 単位制への改編を経て、生徒・保護者の意識の経年変化を見る。
以上①、②の分析から、今後の学校運営・生徒指導に役立てる。

3. 日程

10月27日（火）：第1回委員会・・・基本方針・アンケート内容確認

- ・昨年度から修正が必要な項目、今年度新たに加える項目など
- ・職員会議への提案は11月12日（木）
- ・各学年に、実施日の策定要請・・・教頭先生から

11月 9日（月）：運営委員会。趣旨文書も含めて提示。（別紙参照）

11月 6日（金）：午後 アンケート用紙等仕分け作業

11月12日（火）：職員会議。アンケート内容決定（教員実施）。

12月 3日（木）吉日：生徒・保護者・教職員にアンケート実施

12月中旬：マーク集計業者委託。記述打ち込みなど。

12月25日（金）：第2回委員会 → 分析作業（冬休みの宿題！！！）

1月13日（水）：第3回委員会。宿題持ち寄り。報告書作成作業①

1月下旬：第4回委員会。報告書作成作業②。

2月吉日：職員会議に報告。できれば学校協議会へ報告。

4. 実施方法（例年通り）

- ① 経年変化を見るために、できるだけ、昨年度のアンケート項目を生かす。
- ② 択一式は、マークカードに記入。集計作業は業者委託。
- ③ 生徒用はマーク式のみとする。保護者用・教職員用は質問用紙の末尾に記述欄を設けて、マークシートとともに質問用紙も回収する。
- ④ 多忙な時期なので、意思決定は迅速に行ない、稟議・回覧なども多用する。
ただし、結果分析の討論は精密に行ない、報告書に反映する。
- ⑤ 可能であれば、報告内容に、必要な部署への提言を盛り込む。

5. アンケート回答者数ならびに回答率

回答率：1年生：生徒 316/320=98.8%	保護者 255/320=79.7%
2年生：生徒 316/321=98.4%	保護者 190/321=59.2%
3年生：生徒 314/319=98.4%	保護者 173/319=54.2%

6. 役割分担

総務：端村、泉、鳥山

アンケート実施準備：高坂、中島、落合、大田、田邊、大谷、井上瑞

保護者記述対応：端村

分析・考察・報告書作成：全員！

7. 分析・考察について

比較A（生徒と保護者と教職員での違い。1年では親と子で…、年配の教員は…）

比較B（経年変化。以前と比べて、単位制になって、今年の新入生は特に…）

比較C（年次特性、期別特性。1年と2年で…、71期は…）

クロス集計（塾と授業、部活動と授業、自己管理能力と授業、スマホとXX）

その他自由研究

★ 各委員が上記のいくつかの観点で分析・考察を行い、それらを持ち寄って結果を共有し、さらに検討を加えた。

<教員>

1 生徒は熱心に授業を受けていている							8 生徒は充実した学校生活を送っている							
	20代	30、40代	50、60代	計		20代	30、40代	50、60代	計		20代	30、40代	50、60代	計
意味	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
よく	①	2	67	5	33	10	42	13	40	0	0	6	33	12
やや	②	0	0	9	50	13	54	22	49	3	100	11	61	12
あまり	③	1	33	3	17	1	4	5	11	0	0	1	6	1
ない	④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	100	18	100	24	100	45	100	45	3	100	18	100	45
2 授業内容はよく理解できているようだ							9 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている							
	20代	30、40代	50、60代	計		20代	30、40代	50、60代	計		20代	30、40代	50、60代	計
意味	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
よく	①	1	33	5	28	6	23	12	26	①	0	0	7	39
やや	②	1	33	10	56	17	65	28	60	②	2	67	8	44
あまり	③	1	33	3	17	3	12	7	15	③	0	0	0	5
ない	④	0	0	0	0	0	0	0	0	④	1	33	3	17
計	3	99	18	101	26	100	48	101	48	3	100	18	100	48
3 通路指導で生徒の進路意識を啓発し、意欲を高める工夫をしている							10 学校は、教育活動全般について、生徒や保護者のねらいにこたえている							
	20代	30、40代	50、60代	計		20代	30、40代	50、60代	計		20代	30、40代	50、60代	計
意味	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
よく	①	1	33	8	44	15	60	24	52	①	0	0	6	33
やや	②	1	33	9	50	10	40	20	43	②	2	67	9	50
あまり	③	1	33	1	6	0	0	2	4	③	1	33	3	17
ない	④	0	0	0	0	0	0	0	0	④	0	0	0	0
計	3	99	18	100	26	100	46	99	46	3	100	18	100	46
4 生徒が悩みを相談しやすい環境が整っている							11 教職員は生徒の意見をよく聞いている							
	20代	30、40代	50、60代	計		20代	30、40代	50、60代	計		20代	30、40代	50、60代	計
意味	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
よく	①	1	33	6	33	8	32	15	33	①	0	0	5	28
やや	②	2	67	10	56	18	64	28	61	②	3	100	10	56
あまり	③	0	0	2	11	1	4	3	7	③	0	0	3	17
ない	④	0	0	0	0	0	0	0	0	④	0	0	0	0
計	2	100	18	100	26	100	46	101	46	3	100	18	101	46
5 生徒の自己管理能力は十分育っている							12 各教科において、教材の精選・工夫を行っている							
	20代	30、40代	50、60代	計		20代	30、40代	50、60代	計		20代	30、40代	50、60代	計
意味	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
よく	①	0	0	2	11	2	8	4	9	①	0	0	5	28
やや	②	1	33	5	28	18	69	24	51	②	3	100	10	56
あまり	③	2	67	10	56	4	19	17	36	③	0	0	3	17
ない	④	0	0	1	6	1	4	2	4	④	0	0	0	0
計	3	100	18	101	26	100	47	100	47	3	100	18	101	47
6 本校の生活指導について、適切な指導が行われている							13 生徒の実感をふまえ、学習指導の方法や内容について、工夫・改善を行っている							
	20代	30、40代	50、60代	計		20代	30、40代	50、60代	計		20代	30、40代	50、60代	計
意味	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
よく	①	1	33	5	28	6	24	12	26	①	2	29	5	50
やや	②	1	33	9	50	18	72	26	61	②	4	57	5	50
あまり	③	1	33	4	22	1	4	6	13	③	0	0	0	1
ない	④	0	0	0	0	0	0	0	0	④	1	14	0	0
計	3	99	18	100	25	100	46	100	46	7	100	19	100	46
7 自治会主催の行事は自主的に運営されている							14 生徒による問題行動が起こったとき、組織的に対応できる体制になっている							
	20代	30、40代	50、60代	計		20代	30、40代	50、60代	計		20代	30、40代	50、60代	計
意味	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
よく	①	2	67	3	17	9	36	14	30	①	1	33	10	56
やや	②	1	33	10	56	15	60	26	57	②	2	67	6	33
あまり	③	0	0	5	28	1	4	8	13	③	0	0	1	6
ない	④	0	0	0	0	0	0	0	0	④	0	0	1	2
計	3	100	18	101	25	100	46	100	46	7	100	19	101	46

<教員>

15	いじめ(暴力を含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる							20代 30、40代 50、60代 計	教育活動において、奉仕等の体験学習やボランティア活動が活発に行われている						
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	実数	%	
よく	1	33	8	44	10	40	19	41	1	6	1	4	3	7	
やや	2	33	9	44	14	56	23	50	0	0	5	28	8	32	
あまり	3	1	33	2	11	1	4	9	0	0	10	56	12	48	
ない	4	0	0	0	0	0	0	0	1	33	2	11	4	17	
計	3	99	18	99	25	100	46	100	2	66	18	101	25	101	
16	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる							20代 30、40代 50、60代 計	日々の教育活動における問題意識や不安について、気軽に相談し合えるような環境の人材配置でできている						
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	実数	%	
よく	1	33	8	44	3	33	17	38	0	0	5	28	5	20	
やや	2	67	17	39	16	67	25	56	2	67	7	39	12	48	
あまり	3	0	0	2	11	0	2	4	1	33	5	28	8	32	
ない	4	0	0	1	6	0	1	2	0	0	1	6	0	1	
計	3	100	18	100	24	100	45	100	3	100	18	101	25	100	
17	様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で取り組んでいる							20代 30、40代 50、60代 計	各分野や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している						
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	実数	%	
よく	1	0	5	28	7	28	12	26	0	0	4	22	6	24	
やや	2	67	10	56	18	64	28	61	3	100	8	44	13	52	
あまり	3	1	33	3	17	2	8	13	0	0	4	22	6	24	
ない	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	
計	3	100	18	101	25	100	45	100	3	100	18	101	25	100	
18	本校では、生徒指導において、家庭との連携ができる							20代 30、40代 50、60代 計	本校においては、教職員の服装規律への自覚が高い						
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	実数	%	
よく	1	0	5	28	8	32	13	28	1	33	5	28	8	33	
やや	2	67	12	67	16	64	31	67	2	67	8	44	15	63	
あまり	3	0	0	1	6	1	4	4	0	0	5	28	0	5	
ない	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	
計	3	100	18	101	25	100	46	99	3	100	11	100	24	100	
19	この学校では、生徒が豊富な就労実験等を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている							20代 30、40代 50、60代 計	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている						
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	実数	%	
よく	1	0	4	22	5	20	9	20	0	0	5	33	5	22	
やや	2	67	5	50	17	68	28	61	3	100	8	44	15	65	
あまり	3	1	33	5	28	2	8	17	0	0	2	17	2	14	
ない	4	0	0	0	0	1	4	2	0	0	1	4	1	2	
計	3	100	18	100	25	100	46	100	3	100	17	94	23	100	
20	生徒一人ひとりが興味・関心、属性に応じて選択選択ができるよう、吉の細かい指導を行っている							20代 30、40代 50、60代 計	情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている						
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	実数	%	
よく	1	67	7	39	12	50	21	47	1	33	9	50	5	22	
やや	2	33	10	56	11	46	22	49	2	33	8	33	14	61	
あまり	3	0	0	1	6	1	4	4	1	33	3	17	2	9	
ない	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	
計	3	100	13	101	24	100	45	100	3	99	18	100	23	100	
21	体罰やセクシャルハラスメントの禁止はじめ、人権尊重の実現にもとづいた生徒指導が行われている							20代 30、40代 50、60代 計	教材研究において、ICT機器を活用したことがある						
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	実数	%	
よく	1	33	8	44	10	42	19	42	1	33	9	50	5	22	
やや	2	67	9	50	13	54	24	53	2	33	8	33	14	61	
あまり	3	0	0	1	6	1	4	4	1	33	2	11	4	17	
ない	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	
計	3	100	16	100	24	100	45	99	3	100	12	86	3	53	

<1年生>

- ・学校から文書の配布がある際、重要でなくても保護者へメールでその旨を知らせてほしい。（行事等、終わった後で見せられても困ります）
- ・部活動での様子や、調理実習やクラスマッチ等、写真をホームページに上げるなど、もう少し情報や様子を知れるようにしてほしいです。
- ・ホームページの情報（クラブ活動・部員数など）がいつの情報なのかわからないほど古いのでは？という印象を受けます。更新できていないのであれば、削除するなど、リアルタイムな情報提供を希望します。受験を検討した時に見た内容と変わりないままなので。コロナの対応等大変だとは思いますが、よろしくお願ひします。
- ・成績の悪い生徒に対して、補習等は無いのですか？一般受験や推薦入試、指定校推薦の内容について知りたいです。
- ・決まっていないならとりあえず国公立、ではなく、子供の学力の現実的な視点から、見合ったレベルの大学を指導していただけたら、目標も見つけやすいのではと思います。両親ともに四年制の大学を出ていないため、何をどうしたらいいのかわかりませんので、学校をたよりにしております。よろしくお願ひいたします。（記名）
- ・進路に適切な科目選択の提案をして頂き、さらにその先の進路決定のために、細かな情報も与えて頂けているようで、とてもホッとしています。が、本人が設定した目標に到達するために、ただがむしゃらに時間をかけるだけで、充分な「質」を得られないことが気になります。テクニックがすべてとは思いませんが、勉強に取り組む上手な向き合い方を学べる場や機会があれば幸いです。（記名）
- ・運動部のマネージャーを始め、土日も関係なく頑張っています。ところが、同じマネージャーになった友人から「やめたい」と言われ、精神的に大きく落ち込みました。来年度はその友人とは同じクラスにしないでほしいです。（記名）
- ・コロナ禍の中での入学で不安は感じてますが、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。ご指導よろしくお願ひ致します。
- ・学校の掃除はどのようにしているのでしょうか？全体的に掃除が出来ていないように感じ、ガッカリしました。学校（教室など）でゴキブリを何度も見かけるとも聞きました。トイレも汚く、臭いも酷くびっくりしました。校舎が古いのは承知ですが、もう少しキレイにすることは出来ないでしょうか？衛生的にも心配です。
- ・ときどき学校の食堂を利用してましたが、献立の内容がいまいち良くなく、喜んで食べていません。もう少し栄養バランスと味付けの工夫をしていただければ、利用も増えると思いますので、よろしくお願ひいたします。

<2年生>

- ・科目選択時、6月の時点で悩みに悩み提出。11月にまた悩んだが決定。12月の試験直前に非開講があるから今週中に変更するよう言われた。非開講が多すぎる。6月の時点で過去3年間の開講された授業を示してくれていれば、始めの選択時点で開講されないかもしれないことを考慮した上で選べると思う。子供と選択科目において多大な時間を費やして考えた結果、非開講で変更してくださいはひどいと思う。それもテスト直前に！選んだ非開講科目何人選択したのか人数知りたいです。（記名）
- ・高2夏の懇談のとき、志望大学と成績に差がありすぎる為ご相談したところ、「慌すぎ」との返答でした。私学と比べ、担任先生の「生徒が志望大学へ行けるように」の意識が欠けていると感じました。高1から始まっている姿勢を生徒に浸透できていないと感じました。
- ・懇談の際、進路の事で質問させて頂きましたが、全く聞きたい内容と違い、知りたかった事が分かりませんでした。子供も、知りたい事や相談は部活の顧問に聞いていると言っています。いい先生が多く、授業も分かりやすいと言っていますが、特定の科目が全然分からないとテスト前に困っています。余談が多すぎると言っています。
- ・科目選択動画があることを知らなかった。
- ・毎日学校に行きたくないと言っています。学校の予習でプリントを仕上げるのに時間が相当かかり、他の宿題ややりたい勉強が出来ず困っているようです。そのプリントの答えを一人一人あてられる事に非常に緊張しているそうです（どうしてもわからない部分もあり、その部分にあてられたらどうしようと思うそうです）。とにかく宿題や小テストが多くあり、自分のしたい勉強が出来ずに悩んでいるようです。
- ・私学とコロナ休校でかなり学習面において差がでているのでは？と不安。共通テストについて不安。
- ・学校はオンライン授業を実施する準備はできているのですか。オンライン授業に向けて、家庭で準備しておく事などありましたら、教えていただきたいです。
- ・いつもお世話になりありがとうございます。クラブ活動について提言させていただきます。部員が練習試合の引率をお願いしても引き受けいただけないことがあり、望むような活動ができないのが現実です。もちろん先生方の休日出勤には頭が下がる思いですが、文武両道を謳う鳳高校なので再考していただければ有難いです。（記名）
- ・コロナの事もあり、食堂の管理をもう少しきれいに。設備が気になる。
- ・学習面だけでなく、友人、部活、行事など楽しい高2がコロナで自粛となり、今後の人生で影響するのでは？と感じる。元気に学校に行っていることがこんなにもありがたいことかと感謝している。

<3年生>

- ・各学期末に懇談を行ってほしかったです。
- ・単位制が最後まで理解できませんでした。
- ・受験に必要な教科を、要点をまとめて3年次は授業をすすめて欲しい。
- ・本校に入学した際、きめ細やかな進路指導やガイダンスなるものが行われると説明会で聞き、大いに期待しておりました。しかし肝心の3年生となった今年、そういうものは全くなく、何を決めるのも全て塾と相談しています。どういうスケジュールだったのでしょうか。
- ・学校から家庭への連絡が圧倒的に少ない。重要な連絡事項だけでなく、学校での取り組みや生徒の活動、行事、学校での状況などをもっと発信して欲しい。非公開で行われた文化祭について、未だに何の発信もない（自治会のみ）。
- ・女子のリボン忘れの対応を聞いて驚きました。制服の付属物で、男子にないものなのに、遅刻より重い罰則ルールがあるのはとても疑問に思いました。当人は3年生なのでもう終わりですが、今後の女子生徒のために一筆書かせて頂きました。
- ・新型コロナ感染症予防についての学校の取り組みについて非常に不安を覚える。アルコール除菌剤の設置個数は十分なのか？学校での取り組みや協議内容の通知を要望したい。
- ・コロナ対策について、12/4付お知らせを受けましたが、今まで学校生活でも文化祭でも全く対策していなかった生徒たちがきちんとするでしょうか。もっと声掛けなど学校でしてください。

<教員>

- ・プロジェクターとスライドが扱いにくいので、使いやすいものを買ったほうがいいと思われます。

第2部 分析と考察

ここからは、今年度のOP21委員各位による分析と考察のレポートを紹介します。委員ぞれぞれが、独自の視点で興味深い分析をしています。是非ご一読ください。

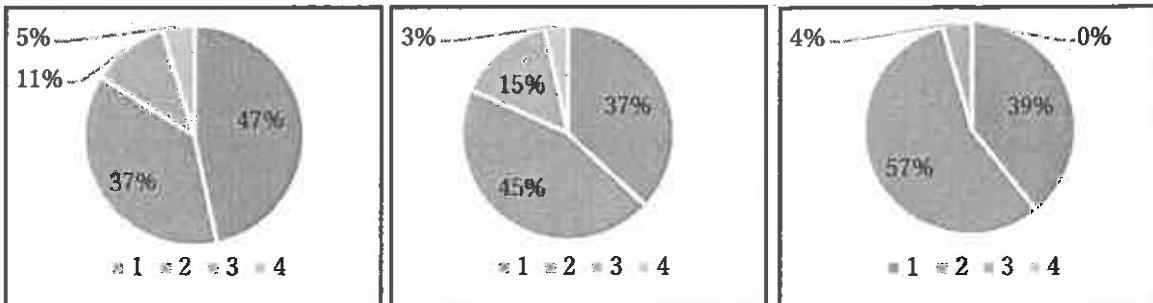
レポート1

生徒・保護者・教員のアンケート結果の3者比較

I. 質問項目別比較

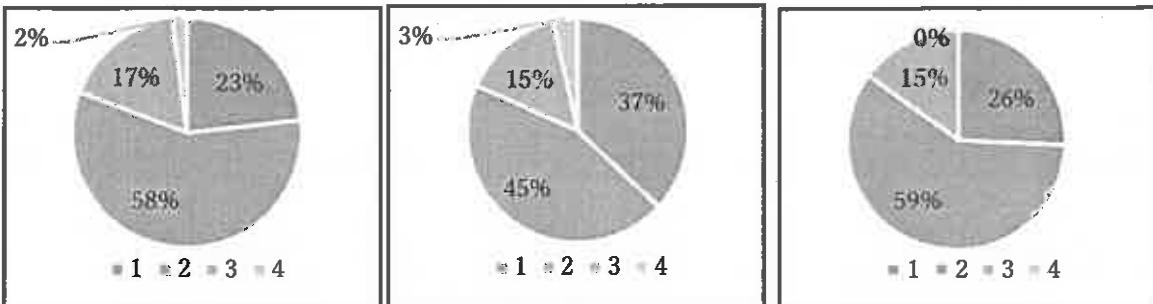
1:よくあてはまる 2:ややあてはまる 3:あまりあてはまらない 4:あてはまらない

(ア) 学校へ行くのを楽しみにしている 子どもは学校へ行くのを楽しみにしている 生徒は充実した学校生活を送っている



3者とも生徒が学校生活を楽しんでいることがうかがえる。
子どもと保護者の肯定的な意見は同程度であり、教員からみると生徒が楽しそうにしている姿をよく見ているので、肯定的な意見が圧倒的であるのかもしれない。

(イ) 授業内容はよく理解できている 子どもは授業内容をよく理解できているようだ 生徒は授業内容をよく理解できているようだ

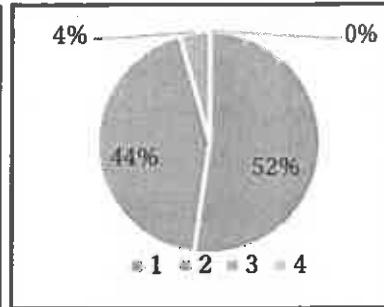
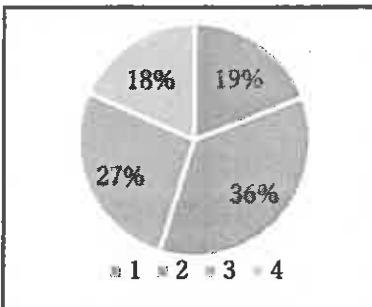
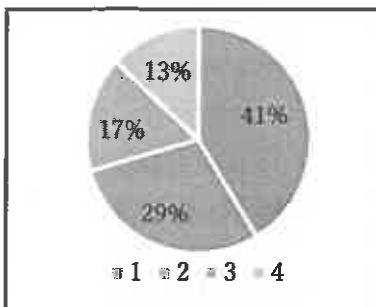


3者ともよく似た割合であり、肯定的な意見が80%を超えてるので、非常に良い結果である。さらに、否定的な意見を減らすための工夫が必要だと思う。

(ウ) コース選択や科目選択に迷った

子どもはコース選択や科目選択に
迷った（ている）ようだ

生進路指導で徒の進路意識を啓発
意欲を高める工夫をしている

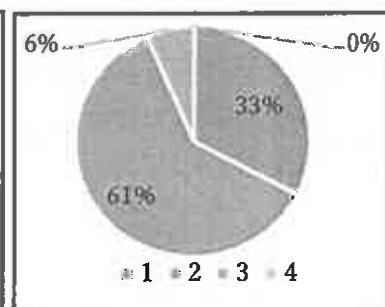
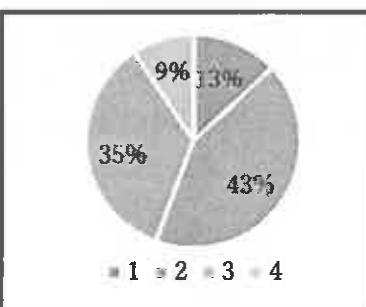
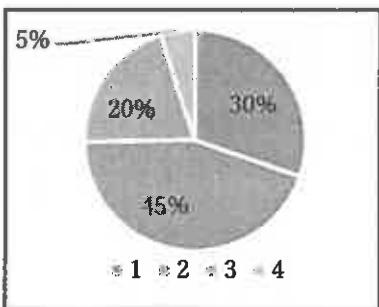


→ 進路に迷った又は迷っている生徒が半数を超える、保護者はより大きく迷っていると感じている。生徒の約90%は進路の情報提供を受けていると感じているので、教員側の意識と開きはない感じる。進路への迷いを感じる生徒と保護者も半数程度いるので、教員の割合を継続していきたい。

(エ) 悩みや相談があるときには、
親身になってくれる先生がいる

子どもの心身の健康について、
気軽に先生に相談できる

生徒が悩みを相談しやすい
環境が整っている



→ 相談体制については、環境は整えているが保護者に伝わっていないという印象をうける。
生徒の肯定的な意見は75%に昇るが、25%の否定的な割合を無視できない項目である
と思う。
教員側とのギャップを少しでもなくしていくなければならないといえる。

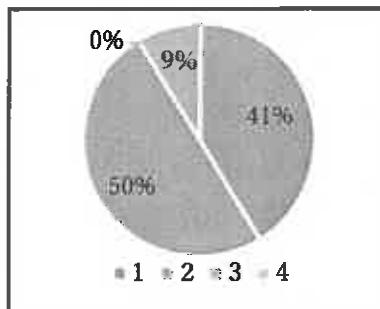
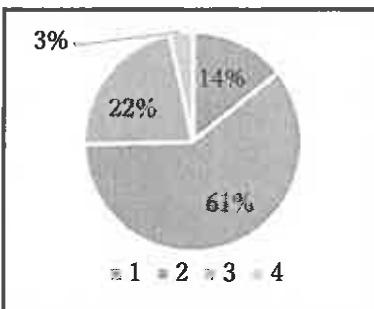
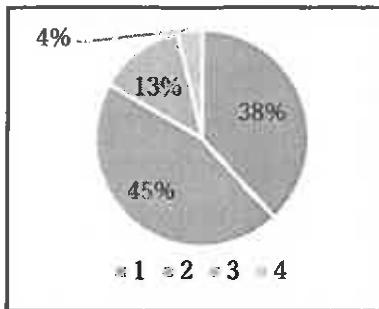
(オ)先生は、いじめについて私たちが困って
いることがあれば真剣に対応してくれる

本校は、いじめについて子どもが困っていること

いじめが起きた際の体制が整っており、

があれば真剣に対応してくれる

迅速に対応することができる



いじめに関しては、肯定的な割合が3者とも高いといえる。

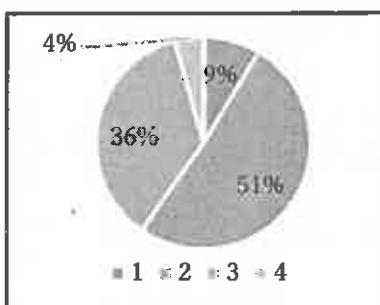
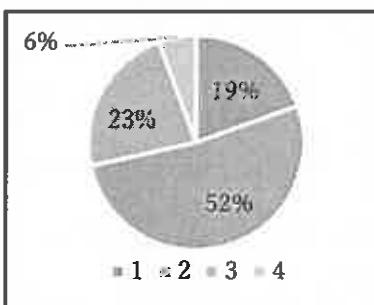
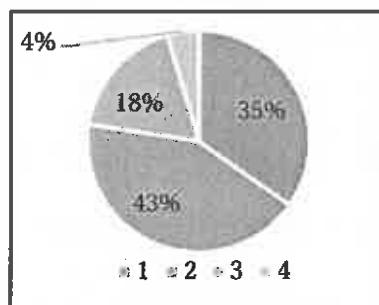
ややあてはまるの割合が3者とも半数程度あるので、この割合をよくに変えていきたいと思う。

保護者の否定的な意見が若干高いのも気になるところである。

(カ)自己管理能力は十分ある

子どもの自己管理能力は十分ある

生徒の自己管理能力は十分育っている



自己管理能力では、教員側の否定的意見が割合として大きいものであると感じる。

生徒と保護者の肯定的意見も同程度である。生徒のよくあてはまると教員側の数値が26%も開きがあるので、教員側は生徒の能力がまだまだ育つと見抜いている結果なのかもしれない。

II. まとめ

3者を比較すると、教員側の取り組みが生徒や保護者に伝わっていない部分は見受けられたが、肯定的な意見と否定的な意見の割合で大きな開きがあるものは少ないと感じた。「やや」を「よく」に変化させる取り組みが必要だと思った。

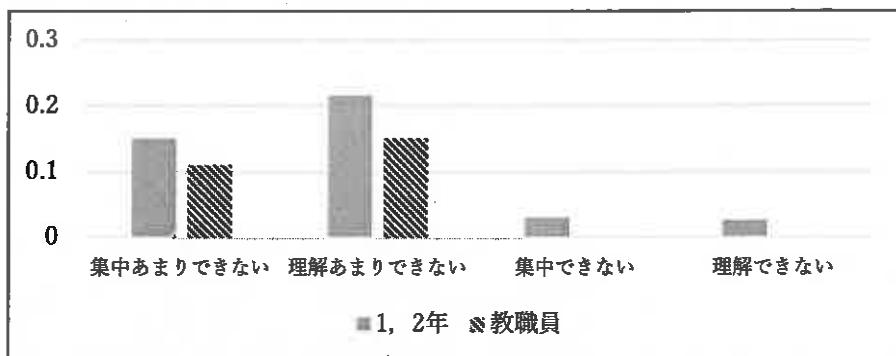
レポート2

さまざまな比較

① 授業集中と理解

3年生の授業内容は演習がふえるため、1, 2年生のデータをみるとこととした。

授業集中については、83%（よくあてはまる 26%ややあてはまる 57%）ができている
授業理解については、76%（よくあてはまる 18%ややあてはまる 58%）ができている
授業を真面目に聞いているが、理解できない … 7%



② 自己管理能力（自立・自律、時間の使い方、マナーなど）

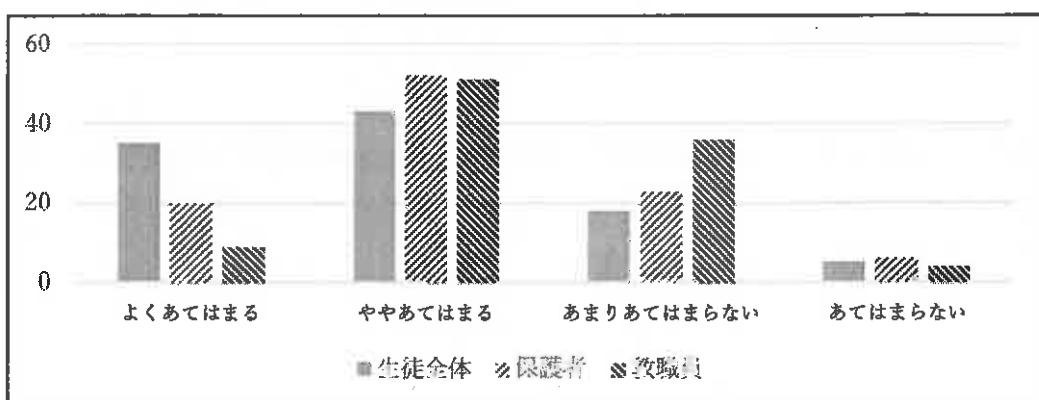
三者（生徒、保護者、教員）比較で最も違いが浮かび上がった項目

（生徒のデータは3学年全体を使用 学年間の差は特になし）

生徒：自己肯定感は高い。ゲームやったりするが、ただの息抜きで、そんなにしてない

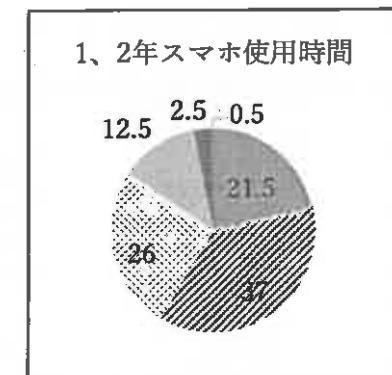
保護者：学校での様子はわからない。家では自分の部屋に入ってしまうと何をやっているのかわからない。ちゃんとやってることを信じるしかない。

教員：休憩時間はほとんどの生徒がスマホを出して何かしら見ている。隙間時間に勉強している様子がない。家でもこの調子だろう。



③ スマホの使用（1日平均）

時間	1年(%)	2年(%)	平均(%)
5時間以上	19	24	21.5
3~5時間	36	38	37
2~3時間	27	25	26
1~2時間	13	12	12.5
30分~1時間	3	2	2.5
30分未満	1	0	0.5



一体何をやっているのだろう！！

スタディサプリで勉強しているからこんなに頑張って使っているのか？！

④ 学習時間

75期と76期の平均で比較。（学年間に大差なし）

平日は、授業・部活動で帰宅後の時間が短く、1、2時間程度になるのは仕方がないが、

注目すべきはほとんどしないの割合。平日ほとんどしない 1年 11% 2年 16%

休日に至っても、時間があつても同じ傾向。休日ほとんどしない 1年 18% 2年 21%

文武両道とは言い難い現状。

⑤ 塾・予備校に行っているか（1, 2年生）

1年 31% 2年 39%

1年生では 3人に1人、2年生では 5人に2人 塾に行っている。

自宅で机に向かって勉強している？

<終わりに>

三者比較としては、不一致するような項目はほとんどなかった。学校診断としては三者ともにどの項目も肯定感が高く、好ましい状況といえる。

課題としては、日々の学習をどう定着させるか。鳳高校の生徒は自転車通学が9割。通学時間に勉強できません。学校で授業を受け、部活動をして、塾へ行かない生徒はあんまり？ほとんど勉強せずに3年生になる… という現状

成績不振者も一定数いる。成績不振の者の部活動の制限をかけるか、部顧問に指導をして頂くか検討してはどうか。

スマホの使用時間に驚いた。何か対策はないか。学校生活の場面でさらに制約をかけてもいいのでは。

レポート3

2020 学校自己診断 クロス集計

生徒へのアンケート結果の相関が気になったので、興味が湧いた以下12の質問をピックアップして、それぞれの結果間の相関係数を計算し、学年ごとに表1～3にまとめた。

相関係数とは、お互いの関連性（相関）の強さを表す数値で、-1～1までの値になる。1に近いほど正の相関（一方が増えるほど、もう一方も増える傾向）が強く、-1に近いほど負の相関（一方が増えるほど、もう一方は減る傾向）が強い。また、0に近いほど相関が弱い（あまり関連性がない）と言える。例えば、表1から「授業集中」と「授業理解」の相関係数は0.46と読み取れる。このことから、授業に集中している生徒ほど授業を理解している傾向が強いと分かる。表1～3では相関係数が平均を超えたセルの色を変えている。表一番下の平均超数とは、相関係数が平均を超えている項目の数（色が変わっているセルの数）を表す。ちなみに、質問28の携帯・スマホの時間は時間が少ないほど良いと考え、数値を逆転させて相関を計算している。

No	質問項目
1	学校に行くのが楽しい
2	授業時間中は集中できている
3	授業内容はよく理解できている
4	授業がわからない場合は先生に聞く
9	進路決定に必要な資料や情報を、自分で集める努力をしている (オープンキャンパスなど)
12	学校では、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている
15	自分は積極的に行事に参加した
19	学習と部活動の両立が出来ている
20	自己管理能力（自立・自律、時間の使い方、マナーなど）は十分ある

23. 平日の授業以外での学習時間はどれくらいですか？（講習・塾・予備校を含む）

- ①3時間以上 ②2～3時間 ③1～2時間 ④1時間未満 ⑤ほとんどしない

24. 休日（土曜、日曜）の学習時間はどれくらいですか？（講習・塾・予備校を含む）

- ①6時間以上 ②4～6時間 ③2～4時間 ④2時間未満 ⑤ほとんどしない

28. あなたは携帯電話・スマホを一日平均、どれくらいの時間使用しますか。

- ①5時間以上 ②3～5時間 ③2～3時間 ④1～2時間
⑤30分～1時間 ⑥30分未満 ⑦しない（持たないを含む）

表1～3 項目間の相関係数（学年別）

1年 75期	学校 楽し	授業 集中	授業 理解	先生 質問	情報 収集	規律 努力	行事 参加	部活 両立	自己 管理	平日 学習	休日 学習	携帯 時間
学校楽し		0.29	0.17	0.18	0.13	0.24	0.36	0.33	0.28	0.09	0.01	-0.05
授業集中	0.29		0.46	0.36	0.19	0.34	0.11	0.21	0.28	0.22	0.23	0.17
授業理解	0.17	0.45		0.34	0.23	0.27	0.13	0.25	0.34	0.25	0.28	0.16
先生質問	0.18	0.36	0.34		0.28	0.14	0.26	0.11	0.21	0.20	0.22	0.13
情報収集	0.13	0.19	0.23	0.28		0.23	0.18	0.06	0.23	0.21	0.25	0.14
規律努力	0.24	0.34	0.27	0.14	0.23		0.28	0.28	0.34	0.08	0.11	0.05
行事参加	0.35	0.11	0.13	0.26	0.18	0.28		0.26	0.24	0.16	0.12	-0.07
部活両立	0.33	0.21	0.25	0.11	0.06	0.25	0.26		0.45	0.04	-0.01	-0.07
自己管理	0.28	0.28	0.34	0.21	0.23	0.34	0.24	0.45		0.14	0.13	0.05
平日学習	0.09	0.22	0.25	0.20	0.21	0.08	0.16	0.04	0.14		0.58	0.16
休日学習	0.01	0.23	0.28	0.22	0.26	0.11	0.12	-0.01	0.13	0.58		0.27
携帯時間	-0.05	0.17	0.16	0.13	0.14	0.05	-0.07	-0.07	0.05	0.16	0.21	
平均超数	5	9	8	8	8	8	6	6	8	5	6	1
												平均

2年 74期	学校 楽し	授業 集中	授業 理解	先生 質問	情報 収集	規律 努力	行事 参加	部活 両立	自己 管理	平日 学習	休日 学習	携帯 時間
学校楽し		0.44	0.32	0.27	0.23	0.36	0.43	0.39	0.32	0.04	0.11	0.07
授業集中	0.44		0.56	0.40	0.34	0.47	0.33	0.38	0.39	0.08	0.30	0.18
授業理解	0.32	0.56		0.36	0.21	0.34	0.17	0.41	0.30	0.07	0.24	0.14
先生質問	0.27	0.40	0.36		0.28	0.36	0.22	0.26	0.28	0.01	0.18	0.00
情報収集	0.23	0.34	0.21	0.28		0.33	0.29	0.25	0.20	0.09	0.30	0.10
規律努力	0.35	0.47	0.34	0.36	0.33		0.34	0.32	0.24	0.03	0.14	0.12
行事参加	0.43	0.33	0.17	0.22	0.29	0.31		0.31	0.35	0.03	0.05	0.03
部活両立	0.39	0.38	0.41	0.26	0.25	0.32	0.31		0.43	0.04	0.22	0.04
自己管理	0.32	0.39	0.30	0.23	0.20	0.24	0.35	0.43		0.03	0.17	0.07
平日学習	0.04	0.08	0.07	0.01	0.09	0.03	0.03	0.04	0.03		0.58	0.09
休日学習	0.11	0.30	0.24	0.18	0.30	0.14	0.05	0.22	0.17	0.20		0.23
携帯時間	0.07	0.18	0.14	0.00	0.10	0.12	0.03	0.04	0.07	0.09	0.23	
平均超数	7	9	7	7	6	8	6	8	7	1	4	0
												平均

3年 73期	学校 楽し	授業 集中	授業 理解	先生 質問	情報 収集	規律 努力	行事 参加	部活 両立	自己 管理	平日 学習	休日 学習	携帯 時間
学校楽し		0.45	0.24	0.30	0.26	0.35	0.21	0.32	0.24	0.25	0.22	-0.01
授業集中	0.45		0.56	0.32	0.24	0.38	0.10	0.38	0.25	0.24	0.20	0.21
授業理解	0.24	0.36		0.25	0.08	0.10	0.01	0.13	0.10	0.10	0.09	0.05
先生質問	0.30	0.32	0.25		0.22	0.23	0.10	0.29	0.05	0.12	0.13	0.00
情報収集	0.26	0.24	0.08	0.22		0.21	0.07	0.23	0.15	0.13	0.10	0.04
規律努力	0.35	0.38	0.10	0.23	0.21		0.24	0.24	0.12	0.15	0.14	0.03
行事参加	0.31	0.10	0.01	0.10	0.07	0.24		0.18	0.04	0.01	0.01	0.01
部活両立	0.32	0.38	0.13	0.29	0.23	0.24	0.18		0.23	0.08	0.09	0.11
自己管理	0.24	0.25	0.10	0.05	0.15	0.12	0.04	0.23		0.02	0.02	0.08
平日学習	0.35	0.24	0.10	0.12	0.13	0.15	0.01	0.08	0.02		0.36	0.27
休日学習	0.22	0.20	0.09	0.13	0.10	0.14	0.01	0.09	0.02	0.86		0.24
携帯時間	-0.01	0.21	0.05	0.00	0.04	0.03	0.01	0.11	0.08	0.27	0.24	
平均超数	10	10	3	6	5	6	3	7	3	4	4	3
												平均

学年の平均超数の累計を表4にまとめた。この数値が大きい項目ほど、相関が強い項目が多い。この表より、授業集中が最も優れた指標と分かる。授業に集中できているかを見れば、学校生活の他の側面も垣間見える可能性が高い、ということだ。授業に集中できている（と回答している）生徒ほど、積極的であったり、自律的であったりする可能性が高い。話は変わるが、携帯時間と他項目の相関が弱いことが意外だった。

表4 各項目の累計平均超数

	学校 楽し	授業 集中	授業 理解	先生 質問	情報 収集	規律 努力	行事 参加	部活 両立	自己 管理	平日 学習	休日 学習	携帯 時間
累計 平均 超数	22	28	18	21	19	22	15	21	18	10	14	4

分かりやすくするために、表1～3で相関係数が平均を超えていた学年の数を表5にまとめた。簡単に言うと、表1～3を重ね合わせた時に黒いセルがいくつ重なるかを表す表である。例えば、3学年とも「授業に集中できている」生徒ほど「学校が楽しい」という傾向があると読み取れる。

表5 相関係数が平均を超えていた学年の数

	学校 楽し	授業 集中	授業 理解	先生 質問	情報 収集	規律 努力	行事 参加	部活 両立	自己 管理	平日 学習	休日 学習	携帯 時間
学校楽し	3	2	2	1	3	3	3	3	3	1	1	0
授業集中	3	3	3	2	3	1	3	3	3	2	3	1
授業理解	2	3	3	3	1	2	0	2	2	1	2	0
先生質問	2	3	3	3	3	2	1	2	2	0	1	0
情報収集	1	2	1	3	3	1	2	1	1	1	2	0
規律努力	3	3	2	2	3	3	3	3	2	0	0	0
行事参加	3	1	0	1	1	3	3	3	2	0	0	0
部活両立	3	3	2	2	2	3	3	3	3	0	0	0
自己管理	3	3	2	2	1	2	2	3	3	0	0	0
平日学習	1	2	1	0	1	0	0	0	0	3	1	
休日学習	1	3	2	1	2	0	0	0	0	3		2
携帯時間	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	

レポート4

経年比較

- ・アンケートの集計結果をパーセンテージに直して経年比較を行った。
- ・昨年までと今年を比較し大きな変化があるところを中心に、気になるところを取り上げて考察した。
- ・生徒のアンケート結果を中心に見た。
「」…アンケート項目、→ …アンケート結果 ●…考察

【生徒】

「3 授業内容はよく理解できている」

→アンケート開始後、初めて「よく」が「あまり」を上回った。(「よく」「やや」合計が初めて 80%)

●生徒自身は授業を理解していると考えている。保護者のアンケートで「2 子どもは授業のことについて家庭でよく話をしている」にも「よく」「やや」に増加傾向がみられ、また、教員の「2 授業内容はよく理解できているようだ」でも「よく」が「あまり」を上回った。家庭でも授業について話題が上がり、授業者もまた生徒が理解していると考えている。

「10 悩みや相談があるときには、親身になってくれる先生がいる」

→「よく」が「やや」を上回った

「11 悩みや相談があるときには、保健室や相談室で気軽に相談することができる」

→「やや」が「あまり」を上回り、「よく」が「あてはまらない」を上回った。

「19 クラブと勉強の両立て悩んでいる」

→昨年大幅に増加した(「よく」「やや」合計がそれまで 50% 前後→19 年 74%)。今年もその傾向は続いている。(70%)

「29 今、一番心配なことは何ですか？」

→一昨年までの傾向である「学習・成績」が一番のウエイトに戻る。2010 年(80%)、2011 年(71%)に続き 2020 年は 68% で歴代三位。

「30 心配事や悩みを相談する相手はいますか？」

→友人と保護者で 85% を占める。また保護者のウエイトが年々増えている。

●「先生」「保健室」に「相談することができる」が、「相談する相手」は「友人・保護者」である。といことは、「先生には悩みを相談するものではない」という認識があるのでないか。悩みの多くが「勉強」にかかわるのであれば、相談しても「自分でやれ」と言われそうですができない。ということだろうか。「30」で「相談する相手がない」に 8 % 存在しているのも気にかかる。

「28 あなたは携帯電話・スマホを一日平均、どれくらいの時間使用しますか？」

→昨年「5時間以上」「3~5時間」の合計が大幅に増加した(30、36、30、29、84%)。

今年は落ち着いたものの 48%で、一昨年以前よりは増加した。

●過去の考察(15 年)にもあったが、スマホで学習したり、調べ物をしたり、進路情報を手に入れたり、といった使い方もある。一概に「スマホを使うこと」を敵視できないだろう。ただ、「多くの生徒が、多くの時間、スマホに向かっている」現状は明らかだ。

「22 本学に入学して満足している」

→06 年以来 13 年振りに「よく」が「やや」を上回った。「よく」「やや」の合計が 84% で 10 年以来 9 年ぶりに 8 割を超えた。

「31 凰高校を受験しようとした第一の理由は何ですか？」

→「学力に合っている」が 19 年 62% と跳ね上がった 20 年は 55% とその傾向が続いている。

●「入学できてよかったです」で一安心している様子だろうか。「高校生活への期待に胸を膨らませて入学することを理想とすれば、この結果は「現実を見ている」と考えるべきか。保護者アンケートでは例年 50% 台で一番のボリュームゾーンだった。年々、親子で傾向が重なっていくことにはどのような意味があるか。そもそも、「学力に合っている」とは何を基準に誰のどういう判断であるのか。

【保護者】

「21 学校行事に参加したことがある」

「22 学校のホームページをよく見る」

「30 凰高校の情報を知る方法は」

→「21」は「よく」「やや」合計が 52% になった。(例年は 7 割)「22」は年々増加し、今年は「よく」「やや」で初めて 50% を超えた。(58%)「30」では「学校からの文書・ニュース 23%」に「ホームページ(20%)」が迫る。

●コロナが影響しているか。「インターネットを用いた情報発信」は今後も強化していくべきか。

【教職員】

「24 日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるよう職場の人間関係ができている」

→「あまり」が調査開始の 5 年間で初めて 30%(12、18、13、13、30)。

●座談会の重要性が増す。また、働き方改革も必要か。

「29 教材研究で ICT を活用したことがある」

「30 授業で ICT を活用したことがある」

→ 「29」は昨年 8 割、今年は 9 割。「30」は昨年 6 割、今年 7 割

●●増加傾向。頻度や媒体を調べれば、本校の ICT の実情をより正確にとらえられるかもしれない。(これ、どこか別のところで調査してませんでした? その情報がもらえたらいいな…。)

【その他】

「ボランティア」

項目はあるけど、数字は芳しくない。やるなら学校全体で取り組むべきか。(昨年の分析でも指摘されているが。)

●● 担当者雑感

全体を見たときに、劇的といえるような変化をとらえることはできなかったが、素人目で、取り上げた今回の特徴からも、少しづつではあるが、確実に変化していく状況がわかる。ただ、今回は「違いがある」ことを指摘したものの「それが何に由来するか」「それによって、今後をどのように見通せるか」といった分析が不十分であった感じている。

また、これまでの資料を確認する中で、「これまでの分析がどうであったか」の振り返りも必要なではないかと感じた。十年以上にわたるデータが残っているということは、その分析もまた、十年以上の歴史があるということだ。これらを「経年比較」することを通して、本校が本校の課題とどう向き合い、取り組んできたかを確認できそうだ。…大変そうですけれど。

レポート 5

問25 本校に入学させて満足している → よくあてはまる♡（満足）と あまりあてはまらない&あてはまらない(^_ ^A（不満）を比べてみた！

不満	問2	問3	問4	
1	10	14.7	3	4.41
2	15	22.1	19	27.9
3	20	29.4	33	48.5
4	23	33.8	13	19.1
				7.35
満足	問2	問3	問4	
1	69	26.1	39	14.8
2	94	35.6	168	63.6
3	76	28.8	46	17.4
4	22	8.33	8	3.03
				17.8
				36
				34.8
				10.6

家で授業のことをあまり話さない（問2）ので授業理解（問3）、先生への質問（問4）については当てはまらないと答えるしかない？

生徒自身は結構理解できているという答えが多い

不満	問6	問7	問8	
1	13	19.1	15	22.1
2	32	47.1	38	55.9
3	13	19.1	9	13.2
4	9	13.2	4	5.88
				17.6
満足	問6	問7	問8	
1	94	35.6	147	55.7
2	142	53.8	103	39
3	22	8.33	8	3.03
4	3	1.14	1	0.38
				26.1
				39.4
				26.9
				6.06

満足していない方でもコース選択の情報（問6）必要な科目をとれる（問7）進路資料集め（問8）など進路指導や単位制については肯定的な意見が多い

不満	問9	問13	
1	15	22.1	8
2	28	41.2	14
3	18	26.5	32
4	7	10.3	14
			11.8
満足	問9	問13	
1	122	46.2	74
2	96	36.4	130
3	33	12.5	49
4	11	4.17	11
			20.6

授業以外のことはよく話す（問9）…都合のいいことしか話していない！？

学校における子供の状況が伝わっていない（問13）というところや、問16、18、20、24などの学校の姿勢を知っていないとわからない項目の低い評価であることから学校の話があまりされていないような気がする

不満	問16	問17	問18	問20	問24	
1	4	5.88	3	4.41	3	4.41
2	24	35.3	11	16.2	23	33.8
3	33	48.5	34	50	28	41.2
4	6	8.82	20	29.4	14	20.6
					10	14.7
					13	19.1
満足	問16	問17	問18	問20	問24	
1	86	32.6	42	15.9	68	25.8
2	150	56.8	138	52.3	136	51.5
3	26	9.85	76	28.8	53	20.1
4	2	0.76	8	3.03	7	2.65
					3	1.14
					5	1.89

その根拠として学校の情報を知る方法（問30）が文書と答えた方が一番多い その文書も届いているのか怪しい
満足している家庭は断トツで子供の話となっている やはり子供との会話が大切であると思う

不満	問30	満足	問30
21	30.9	147	55.7
23	33.8	49	18.6
1	1.47	3	1.14
15	22.1	51	19.3
2	2.94	9	3.41
3	4.41	2	0.76

レポート6

コロナ下でのアンケート結果

今年度は5月までの休校期間とともに、様々な行事が中止、または実施形態の変更を余儀なくされた。その影響は少なからずアンケート結果に表れているのではないかと考え、過去の結果と比較したレポートが2本提出された。

1本目は、今年の1年生（生徒）に注目したものである。過去4年間の1年生の平均と今年の1年生を比較した結果、驚くほど多くの質問で、今年の1年生の方が肯定的な回答をしていることがわかった。以下、肯定的な回答が増えた質問項目である。とりわけ、網掛けの行は、10ポイント以上の増加がみられた項目である。

No	質問項目
1	学校に行くのが楽しい
4	授業がわからない場合は先生に聞く
10	悩みや相談があるときには、親身になってくれる先生がいる
11	悩みや相談があるときには、保健室や相談室等で、気軽に相談することができる
13	先生は、いじめについて私達が困っていることがあれば真剣に対応してくれる
14	自治会の行事は自主性・連帯感を高めることに役立っている
15	自分は積極的に行事に参加した
16	授業などで、自ら考えたり、主体的に学んだり活動したりする機会がある
18	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある
19	学習と部活動の両立が出来ている
20	自己管理能力（自立・自律、時間の使い方、マナーなど）は十分ある
21	本校は施設・設備が充実しており、学習環境・部活動環境に恵まれている
22	本校に入学して満足している

減少したのは、「9 進路決定に必要な資料や情報を、自分で集める努力をしている」くらいで、これは大学のオープンキャンパスなどが軒並み中止となった影響が現れていると考えられる。

さて、併せて見たいのが、もう1本のレポートで、こちらは生徒全体での比較となっている。過去5年間の生徒全体の平均と、今年度の生徒全体の回答を比較し、肯定的な回答が増えている項目をあげると次の表のようになり、増加傾向が1年生だけに留まらないことがみてとれる。

生徒全体の「よくあてはまる」の回答率が5ポイント以上増えた項目

No	質問項目	平均	R2	+
1	学校に行くのが楽しい	41	47	6
2	授業時間中は集中できている	22	29	7
3	授業内容はよく理解できている	15	23	8
4	授業がわからない場合は先生に聞く	16	23	7
5	将来の進路や生き方について考える機会がある	44	51	7
7	コース選択や科目選択のための情報は、学校からよく提供された（されている）	31	41	10
8	自分の進路に必要な科目が本校の授業から選択できる	58	63	5
10	悩みや相談があるときには、親身になってくれる先生がいる	23	30	7
11	悩みや相談があるときには、保健室等で、気軽に相談することができる	13	19	6
13	先生は、いじめについて私達が困っていることがあれば真剣に対応してくれる	26	38	12
14	自治会の行事は自主性・連帯感を高めることに役立っている	24	32	8
15	自分は積極的に行事に参加した	42	52	10
17	授業などで、豊かな心や人の生き方について考える機会がある	19	29	10
18	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある	20	35	15
20	自己管理能力（自立・自律、時間の使い方、マナーなど）は十分ある	24	35	11
22	本校に入学して満足している	34	45	11

特に網掛けの項目は10ポイント以上の増加がみられたところである。

このように、今年度は生徒全体としても、例年と異なった回答傾向となっている。その原因が何であるのかは、議論が分かれるところだと思うが、若干の分析を試みた。

＜分析＞

- ・「7.選択のための情報は、学校からよく提供された」については、コロナ感染症の影響でオープンキャンパスなど、外部での説明を受ける機会が乏しくなり、他方では進路指導部を中心に細やかな情報提供がなされ、担任の先生方をはじめとして、丁寧に相談に応じていただいたことが反映されているのではないか。「よく」と「やや」を加えた肯定的な回答は90%に迫っている（例年は80%程度）。
- ・「13.いじめについての対応」は具体的な事象があったとは思えないが、この自己診断アンケートと同時にいじめに関するアンケートも行われたことが影響しているのかも知れない。
- ・「15.積極的に行事に参加した」については、前述のとおり満足に参加できる行事が少なく、逆に参加した行事については印象が深かったのか。

- ・「17.豊かな心や生き方を考える機会」については、今年はアンケートの実施が遅く、芸術鑑賞会を終えた後であったことが影響しているのではないか。特に1年生での増加が顕著であった。
- ・「18.命の大切さや社会のルール」はまさにコロナ感染症に関する事、先生方の懸命な消毒作業などが少なからず影響しているのか
- ・「20.自己管理能力」については例年あまり信用できないデータではあるが、休業中の自宅での自主学習が自身につながっているのか
- ・「22.学校満足度」については、「よく」と「やや」を加えた回答も77%から84%へと増加している。1年生の、実に54%が「よくあてはまる」と答えていることに加えて、昨年度「よくあてはまる」と答えた生徒が25%程度であった73期生が、今年は46%と大きく増加した。学年団の丁寧な進路指導が影響しているのではないか。

残りの項目については、横ばいまたは微減であった。自宅待機期間が長かったことから、自宅学習の習慣が少しでもついているかと思ったが、学習時間についてはほとんど平日・休日ともに顕著な違いは見られなかった。

さて、これに対して、保護者の方々の回答にも、例年と異なる結果がみられているかと考え、比較を試みたが、保護者の方々のアンケート結果は、ほとんどの質問に対して、概ね例年通りの結果であった。生徒と保護者の間でなぜこれほどの違いが生まれたのかについては、今のところ明確な原因を見いだせていない。

レポート7

教員用アンケート結果に見る世代間別認識の違いについて

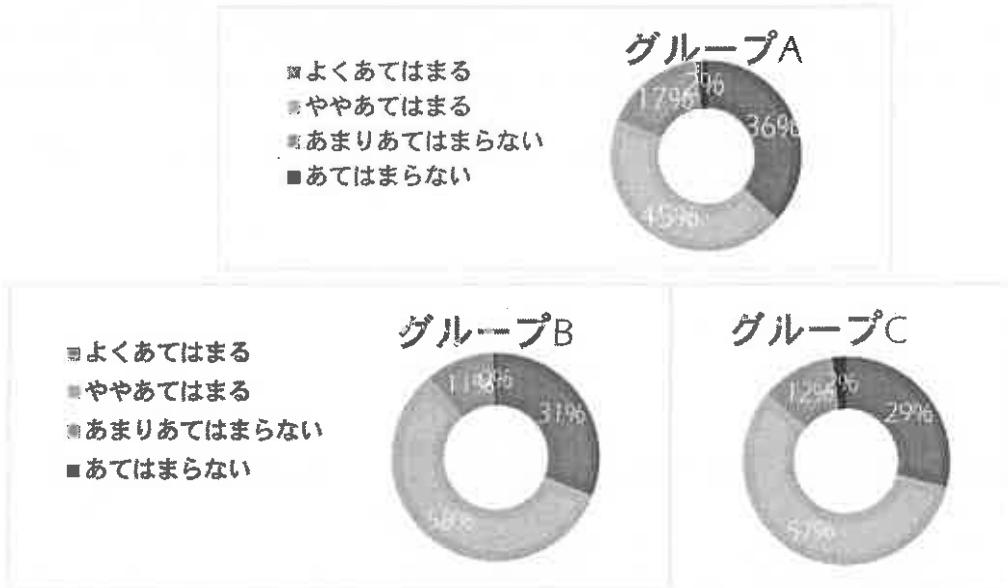
(O) はじめに

今年度の教員用アンケート結果をもとに、教員を年齢別にグループ分けし、各項目の認識の違いについて比較してみた。回答者数は20代(3名)、30代(12名)、40代(6名)、50代(13名)、60代(13名)であり、回答した教員の人数や各自の経験年数、経験校数の違い等を考慮して、20代・30代の経験が比較的浅い若手のグループ(15名:グループA)、40代・50代の学校の中核を担うリーダーグループ(19名:グループB)、そして60代の経験豊富なベテラングループ(13名:グループC)の3つに分類した。全体の回答者数が多くはないので正確なデータとは言い難いが、何かのきっかけになればと思う。

(1) 全体として

今回のアンケートでは、各質問項目について4種類の回答から選ぶ形式だが、①②を合わせて「あてはまる」③④を合わせて「あてはまらない」として肯定的or否定的回答の傾向を比較してみた。

各グループの回答傾向を見ると以下のグラフのようになる。



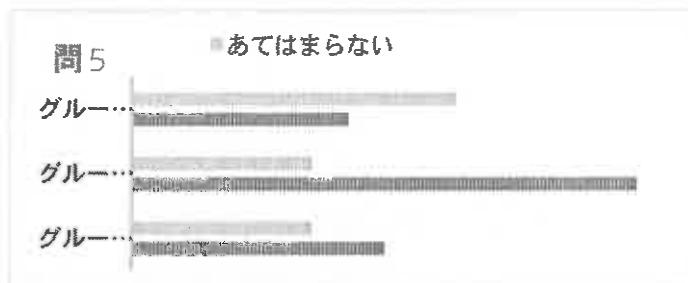
- ・全体としてグループ間での肯定的/否定的回答率の差はそれほど大きくはない
- 大きく見ると教員間での認識の違いやズレは少ない…?
- ・グループAの否定的(「あてはまらない」)回答率が最も高い

- 若い世代で批判的にみる傾向がある。経験の違いもあるのか？
- 以上の結果を踏まえ、次は質問項目別の結果を比較してみる。

(2) 質問項目別比較

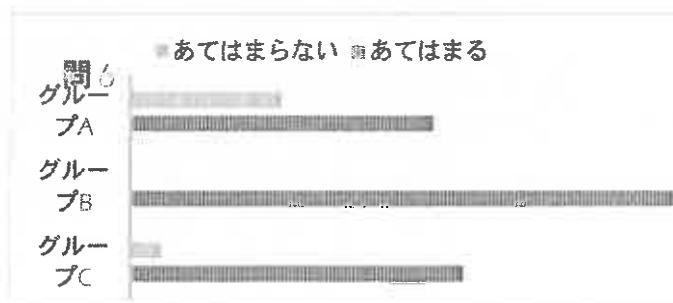
次に、グループ間の回答傾向に差がある項目をピックアップしてみた。特に差が大きかったのは問5、6、9、10、19、23、24の7項目だった。

◆問5 生徒の自己管理能力は十分育っている



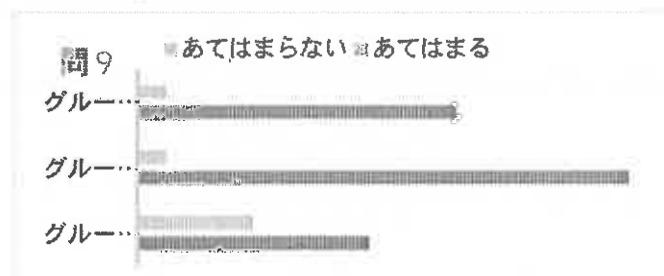
★グループAのみ否定的回答が肯定的回答を上回っている。年齢が近い程？自己管理のなさが目に付くのだろうか…

◆問6 本校の生徒指導について、適切な指導が行われている



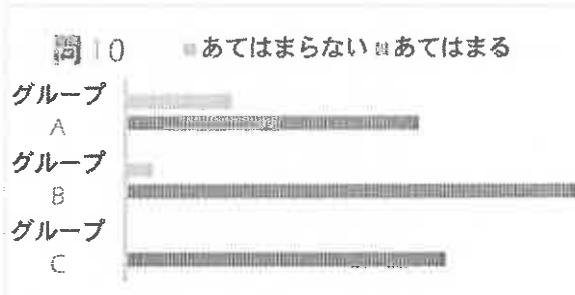
★グループBは否定的回答がゼロ！
グループCもわずかであった。それに対してグループAは1/3が否定的回答をしており、座談会のテーマ等意見交換の場でのトピックになると良い意見が出るかもしれない

◆問9 本校の教育活動について、教員で日常的に話し合っている



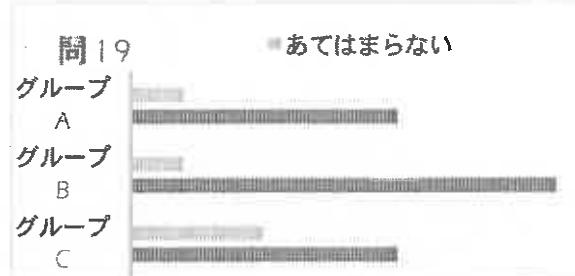
★グループCの否定的回答がやや多くなっているが、全体としては肯定的回答が大半であり、教員間での情報共有はよく出来ていると感じている教員が多いことがわかる

◆問 10 本校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いにこたえている



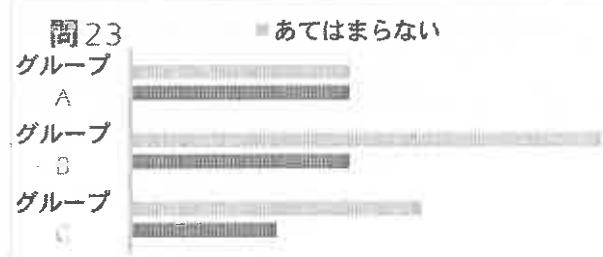
★グループ C は否定的回答がゼロ！逆にグループ A は否定的回答がやや多かった。若い世代はもっと学校を良くしたい！という意識が高い…？

◆問 19 本校では、生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている



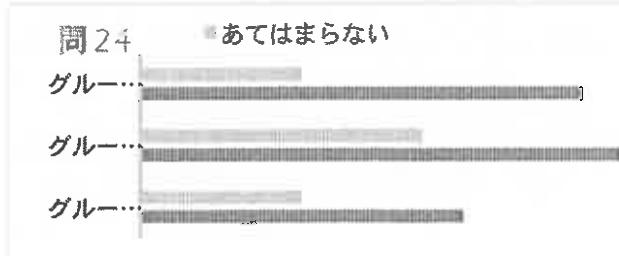
★グループ C の否定的回答がやや多い。経験した学校数が多い程、様々な「キャリア教育」を経験しているので、比較対象が多いからか…？

◆問 23 教育活動において、奉仕等の体験学習やボランティア活動が活発に行われている



★この項目は回答の傾向にバラつきがある。本校で実際どのような「奉仕等の体験学習」や「ボランティア活動」が行われているのかを把握する機会が少ないのでかもしれない

◆問 24 日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえる職場の人間関係ができている



★グループ B の否定的回答がやや多くなっている。コロナの状況で飲み会等気軽にコミュニケーションを取れる場が減っているのも要因か…？

★同様の質問（問 9）に比べて否定的回答が大幅に増加！特にグループ A・B

(3) まとめ

- ★ 質問項目別の回答傾向を比較すると、グループ A の否定的回答率が高くなっているのは主に問 5・6・10 の様に生徒にかかわる質問事項であることがわかる。
- グループ B や C の教員は経験年数や経験した学校数が多い分、良い意味で「大らかな」視点が持てているのかもしれない。グループ A の比較的「あてはまらない」寄りの意見も決して悪いものではなく、今後の本校の教育活動をより良くしていく上では必要なものである。
(具体的にどの部分が「あてはまらない」のかぜひ記述欄を活用して聞いてみたい!)
- ★ 否定的回答が問 9 よりも問 24 の方が大幅に増えている。このことは、教育活動するなむち授業や生徒の様子に関する「仕事上の」意見交換はできているが、問題意識や悩みといった教育活動をしていくうえで同等に重要なことを「気軽に」共有できていないということでもある。仕事の多忙化により気軽に相談しあえる時間がないという状況はあるが、このアンケート結果に見られた多少なりとも存在する回答傾向の差は、教員間での世代を超えたコミュニケーションの場がより必要であることを示している。
- 先日の職員会議にて、校内活性化委員会の先生方が月一での座談会を企画しているという報告があったが、このような「気軽な」会話の場は今まさに必要であり、今回取り上げた項目を含めどこかで話し合う場があればと思う。

以上

レポート8

新しい質問項目への回答について

例年、質問項目はなるべく変更せずに実施しているが、今年度は生徒向けで1つ、保護者向けで1つ、質問事項が増えた。その結果をまとめてみた。

1. 生徒向け

「授業などで、自ら考えたり、主体的に学んだり活動したりする機会がある」

	1年		2年		3年		計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
よくあてはまる	189	60	122	39	132	42	443	47
あてはまる	116	37	162	51	142	45	420	44
あまり	9	3	25	8	36	11	70	7
あてはまらない	2	1	7	2	4	1	13	1
合計	316	101	316	100	314	99	946	99

生徒の9割を超える生徒が「よくあてはまる」「あてはまる」との肯定的回答を寄せている。

他の質問項目

「授業などで、豊かな心や人の生き方について考える機会がある」

「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」

などの肯定的回答も今年度は多く、ひとつはコロナ休校の影響、もう一つは本調査の実施時期の影響が考えられている。

2. 保護者向け

「科目選択に関する保護者の方への説明動画を、ご覧になられましたか?」

	1年		2年		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
はい	168	68	74	43	242	57
いいえ	80	32	100	57	180	43
合計	248	100	174	100	422	100

1年生の保護者の方々は、実に7割近くの方が利用してくださったようだが、一方で2年生の方々は4割強にとどまった。1年次に科目選択を経験し、2年次は本人に任せられるようになってきたのか、あるいは昨年度と同様であろうとの判断で、動画の必要性を感じられなかつたのかは定かでない。ただ、中には動画の存在を知らなかつた方もおられたようなので（記述回答）、今後、同じようなことが行われる場合には、伝達について一層丁寧にしなければならないと思う。

編集後記

生徒諸君や保護者の方々、ならびに先生方のご協力のおかげで、今年度も学校教育自己診断を終えることができました。改めてお礼申し上げます。

今年度は、例年に比べて委員会の発足が遅くなってしまい、アンケートの実施が12月になってしまったことで、例年と若干異なった結果となった部分が見受けられました（いじめ関連や心を豊かにする取り組みなど）。しかし、それよりもとにかく「新型コロナ感染症」によって、学校生活が大きく変わり、それによる影響が大きく表れた年だと思われます。全生徒からの回答が一斉に肯定的に動いたのは、休校期間を経験して、学校生活を送れる有難さを感じた可能性が大きいにあります。生徒が様々な不安を抱える中で、しっかりとした学校活動を提供することは、彼ら、彼女らだけでなく、保護者の方々にとっても切なる願いであると思われます。コロナとの戦いは当面続きそうですが、マスクをつけたままの授業をはじめとする様々な制約から、一日も早く抜け出せることを願って止みません。

他方、分析作業の中で

- ・生徒のスマートフォンへの依存が強くなっているが、利用内容を調べてもいいのではないか
- ・保護者の方々から、ホームページをはじめとする、学校からの情報発信の要求が一層強くなっていることから、何らかの取り組みが必要ではないか
- ・教員の世代間での意識の違いがみられるので、様々な機会を作って、コミュニケーションを図る必要があるのではないか

などの意見も出ていました。各レポートに示された分析内容とあわせて、関係各所で次年度の運営に役立てていただければ幸いです。

ご協力、本当にありがとうございました。